

てんかんについて

あなたに知ってほしいこと

てんかんとは

てんかんは脳の病気です。脳の神経細胞の一部が活発に活動するために、てんかん発作が繰り返しおこります。

国内でもよく見られる病気で、100人から200人に一人、およそ100万人いると言われています。

てんかん発作には、全身、または体の一部がけいれんするもの、意識がなくなるもの、あるいは自分だけが自覚するような発作まで、さまざまで、どの年代にもみられる身近な病気です。

病気に対する正しい情報が知られていないため、今でもなお誤解や差別、偏見が生じやすい病気です。

こんな配慮をお願いします

てんかんについて、^{ただ}正しい^{りかい}理解をしましょう
^{つか}疲れすぎたり、^{ねぶそく}寝不足が^{つづ}続くと^{ほっさ}発作が^お起きやすくなります

●てんかん^{ほっさ}発作がおこったら

ほとんどの^{ほっさ}発作は、1分^{ぶん}から^{すうぶん}数分たてば^{しぜん}自然にとまります。すぐに^{きゅうきゅうしゃ}救急車を^よ呼ぶ必要は、^{みつよう}ほとんどありません。

●もし^{みちか}身近に^{ほっさ}発作が^お起^{ひと}こった人がいたら

- ^{とが}尖ったものなど、^{きけん}危険なものを^{とお}遠ざける。
- ^{あたま}頭を^{ぶつ}ぶつけないように^{やわ}柔らかいものを^{あたま}頭の下に^{した}敷^しく。
- ^{おさ}けいれんが^{おさ}治まっても、^{いしき}意識が^{はつきり}はっきりするまで^{みまも}見守る。

●やっ^はては^いけ^ないこと

- ×^{くち}口の中に^{なか}ハンカチなどのものを^い入れる。
- ×^とけいれんを^と止めようとして^{からだ}体を^お押さえる。
- ×^{はや}早く^{いしき}意識を^{もど}戻そうとして^{しげき}刺激を^{あた}与える。

まずは、^{あわ}慌^{あわ}てず、^お落^つち着いて、^{ただ}正しい^{りかい}理解と^{はいりよ}配慮を^{こころ}心がけましょう